

平成26年度 田村市立船引小学校

学校だより No.2

発行日:平成26年6月10日(火) 発行責任者:校長 富塚忠夫

相手の話を真剣に聴く

運動会では、当日の本番はもちろん、練習や準備をする中で、主に子どもたちの「心」と「体」をきたえることができました。工夫すること、協力し合うこと、本気になって運動すること、これらの楽しさを学びました。



5/24 運動会より

6月は、「頭」と「心」をきたえる月です。船引小学校では、「学び合い」の授業を大切にしています。考えや思いをしっかり伝えること、考えや思いをしっかり聴くことを大切にします。「学び合い」を通して、今まで気づけなかった考えを知ることができます。子どもたちどうし話し合いから、よりよい考えを作り出すことができます。勉強がもっと楽しくなります。

聴くことは、話すこと以上に大切です。熱心に話を聴くときは、自然と相手の方に目や体を向けます。顔つきや相づちは、話し手に対してしっかり聴いているというメッセージになります。真剣に聴こうとする意識、積極的に聴こうとする意識は、目に見える姿勢やしぐさに表れます。一生懸命話を聴いてもらえたら、うれしくなります。聴くことを大切にすると、勉強が楽しくなります、よくわかるようになります。

「耳は二つ、口は一つです。だから、自分が話す2倍は相手の話を聴きましょう。」

学校では、子どもたちに話を真剣に聴く大切さを指導しています。また、子どもたちに話の聴き方を指導するだけでなく、子どもたちの話をよく聴くよう努めています。ご家庭でも、ぜひ子どもたちの話を聴いてあげてください。



第1回校内授業研究会

6月3日(火)、第1回校内授業研究会を行いました。今年度の研究テーマは、「ともに学び合う授業の創造」です。

5校時に、4年4組の国語の授業を参観しました。その後の事後研究会では、子どもたちの学び合いのために、教師がどのように関わるべきか、指導方法について話し合いました。

教師の授業力を向上させることで、子どもたちの学力向上を図りたいと思います。